

# CICONIA

## 取扱説明書

保証書付

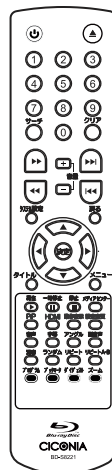
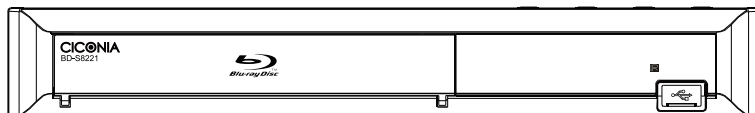
### BD-S8221

### ブルーレイDVDプレイヤー

#### はじめに

このたびはコンパクトブルーレイDVDプレイヤーをお買い上げ頂ましてまことに有難うございます。

- この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。
- 本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。
- 付属品をお確かめ下さい。



# 目次

安全上ご注意	.....	P2-P4	ディスクの再生	.....	P21-P22
絵表示について			再生		
警告			一時停止		
注意			停止		
ご使用の前に	.....	P5-P8	早送りと早戻し		
取り扱い上のご注意			スキップ機能		
再生できるディスクについて			各種機能	.....	P23-P27
ディスクについて			リピート機能		
リモコンについて			プログラム機能		
各部名称	.....	P9-P10	ブックマーク機能		
リモコン			サーチ機能		
本体			音声言語の切換		
電源について	.....	P11	字幕言語の切換		
テレビ/外部機器との接続	P12-P14		アンゲル切換		
HDMI出力			ズーム切換		
映像出力端子			PiP再生		
オーディオ出力端子			ディスクポップアップメニュー		
オーディオ出力端子と音響機器			ディスク情報の表示		
同軸デジタルオーディオ出力			BD-LIVEを楽しむ		
LANとの接続			メディアセンターボタンの操作と機能		
操作前の機能設定	.....	P15-P20	音楽再生	.....	P28
全般設定			MP3-CD音楽再生		
システム			USBメモリー内MP3の音楽再生		
言語			各種ファイルの再生	.....	P29
再生			静止画(写真等)再生		
セキュリティー			スライドショー再生		
ネットワーク			ミュージカルスライドショー再生		
ディスプレイ設定			故障かなと思ったら?	.....	P30
TV			仕様	.....	P31
画質設定			保証書	.....	P32
動画処理			メモ(空白欄)	.....	P33-P35
オーディオ設定					
オーディオ					
アップグレード					

# 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
- お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管してください。

## 免責事項について

次の内容に関しては、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

※地震及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害。

※本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など)。

※取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害。

※当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害。

## 絵表示について

この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全に使う様に、又理解し易い様に 色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を 次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守ってください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

### ◆絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。  
(左図の場合一般的注意が描かれています。)



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、ACアダプターを電源コンセントから抜く)が描かれています。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告

### ・異常な状態の時は使用しない



禁止

煙が出たり、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用しないで下さい(火災や感電の危険があります)  
すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
煙が出なくなるのを確認してから、お買上げ店にご相談下さい。

### ・電源コードの取扱い



電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱、加工などを加えないようご注意ください。

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

確実に差し込む



ぬれ手禁止

・電源コードは確実に差し込んでください。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

・電源コードの上に機器本体や重いものを置かない。

・敷物の下に電源コードを隠さない。

・電源コードをホットキスや釘などで固定しない。

・足を引っ掛ける恐れがある配線をしてない。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないで下さい

(火災や感電の危険があります)

・ACプラグについたほこりや汚れを定期的  
に乾いた布でふき取ってください。

\* ACアダプターにほこりなどがたまると、  
湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因  
となります。



禁止

交流100V以外の電圧では使用しないでください。  
\* 火災・感電の原因となります。



分解禁止

絶対に分解したり・修理・改造は行わないでください。  
(キャビネットも外さないでください。)

\* 火災・感電の原因となります。  
販売店で点検・整備・修理をご依頼ください。



禁止

本機の内部に金属類や燃えやすいもの  
などを入れたり、落としたりしないでください。  
\* 火災・感電の原因となります。  
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



接触禁止

雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに  
触れないでください。  
\* 感電の原因となります。



禁止

次のような場所にはおかない。

- 直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所  
\* キャビネットや部品の故障の原因となり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。
- 湿気や埃の多い場所  
\* 火災や感電の原因となります。
- 振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所  
\* 倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。



禁止

本機に布をかぶせたりしないでください。  
\* 内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意ください。  
\* テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。  
\* 本機を押し入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないでください。



禁止

通風孔をふさがない。  
\* 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・感電・故障の原因となります。

# 安全上のご注意

 警告	
 <p>再生中は本機を絶対に動かさない。 * 再生中はディスクが高速回転していますので本機を動かすとディスクの損傷や本機の故障の原因になります。</p> <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>レーザー光</p>  <p>レーザー光線をのぞきこまない。 * レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。</p> <p style="text-align: center;">禁止</p>
 <p>* 本機に水をかけたり、濡らしたりしないでください。 * 本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置くと、火災・感電の原因となります。</p> <p style="text-align: center;">禁止</p>	 <p>熱器具の近くや直射日光の当たる場所に設置・保管しない。 * 熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。</p> <p style="text-align: center;">禁止</p>
注意	
 <p>効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いてください。 * 間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上のすきまを空けてください。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>	 <p>各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切りAC電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続してください。 * それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定の接続ケーブルを使用して接続してください。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>
 <p>本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切りAC電源プラグを抜いてから、外部接続コードを外してください。 * 感電の原因となります。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>	 <p>お手入れの際は、安全の為、AC電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。 * 感電の原因となります。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>
 <p>旅行など長時間使わないときは、必ずAC電源プラグを電源コンセントから抜いてください。 * 火災の原因となることがあります。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>	 <p>指挟み</p> <p>ディスクの挿入口に指を入れしないでください。 * 内部で指をはさまれ、怪我をすることがあります。</p> <p style="text-align: center;">指挟み</p>
 <p>本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、AC電源プラグを本体から抜いてください。 * そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼ください。 ご自身の修理は危険ですから、絶対にお止めください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>	 <p>本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントからAC電源プラグを抜いてください。 * そのまま使用すると、火災・感電の原因となりますので、販売店にご相談ください。</p> <p style="text-align: center;">注意</p>
 <p>幼児の手が届かない場所に置く。 * 小さなお子様が電源コードなど遊ぶと、首に巻きつけたり、引っ張って本機が落下したりして、けがや感電、故障の原因となります。</p> <p style="text-align: center;">指示</p>	 <p>本体や電源プラグにスプレー(殺虫剤・整髪料・掃除用洗剤など)をかけないでください。</p> <p style="text-align: center;">禁止</p>

## ご使用前に

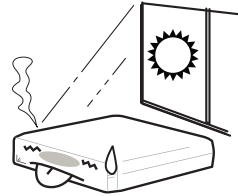
### 取り扱い上のご注意

#### ★ ディスクの取り扱いについて

- \* 直射日光の当たる所や熱器具の近くなど高温になる所には保管しないで下さい。また、湿気の多い所や極端に温度の低い所も避けて下さい。
- \* ご使用後は、ケースに入れて保管して下さい。ケースに入れずに重ねたり、斜めに立掛けたりすると、その原因となります。
- \* 紙やシールなどを貼り付けたり、ペンなどで書き込みをしないで下さい。
- \* ディスクの信号面に手を触れないように持って下さい。
- \* 指紋やホコリによる汚れは画質や音質低下の原因となります。いつも綺麗にしておきましょう。
- \* お手入れの際は、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭いて下さい。
- \* ベンジン・シンナー・レコードクリーナー・静電気防止剤等はディスクを傷めることがありますので、使わないで下さい。

#### ★ 本機の設置や取り扱いについて

- 次のような場所には置かないで下さい。
- \* 直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど高温になる場所  
(特に夏季の窓を開め切った車内には絶対に放置しない。)
  - \* 湿気の多いところや風通しの悪いところ
  - \* 不安定なところや振動の多いところ
  - \* ホコリの多いところ
  - \* 磁気を帯びているところ(スピーカーやテレビの上など)
  - \* テレビなどの重いものを上に乗せないで下さい。  
また圧力をかけたり強い衝撃を与えないで下さい。  
本機の故障やディスク破損の原因となります。



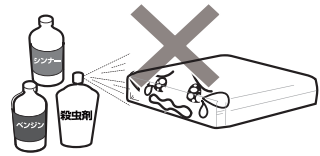
#### ★ 結露について

寒い所から急に暖かい所に移動させるとレンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しない事があります。このような時はディスクを取り出して数時間放置して下さい。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

#### ★ お手入れについて

お手入れの際には、安全のため電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

- \* 本機の汚れは乾いた柔らかい布で軽く拭き取って下さい。  
汚れのひどい時は水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で乾拭きして下さい。
- \* ベンジンやシンナー等は使わないで下さい。変質したり、塗料がはげたりする事があります。
- \* 化学雑巾をお使いになる時は、化学雑巾の注意書きをよくお読み下さい。
- \* 殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないで下さい。  
変質したり、塗料がはげる原因となります。



# ご使用の前に

## 取り扱い上のご注意

### ■著作権について

- \* ディスクを無断で複製、放送、上映、公開演奏、レンタルすることは法律によって禁止されています。
- \* 本機はマクロビジョンコーポレーション及びその他の権利所有者が所有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許諾がない限り、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないとされています。リバーブエンジニアリングや改造は禁止されています。
- \* Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。  
非公開機密著作物、著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- \* DTSとDTS Digital Outはデジタルシアターシステム社の商標です。
- \* DVDロゴ、Blue-rayロゴは商標です。

## 再生できるディスクについて

### ■再生できるディスクの種類

本機では以下のディスクを再生することができます。



### ※ご注意

- 本機は記録型メディアの再生全てを保証するものではありません。
- DVD-R/DVD-RWについて  
本機はファイナライズされたDVD-R/DVD-RWの再生に対応しています。ただし、ビデオモードの記録に限りません。また、記録状態によっては再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWについて  
本機は録音終了時にファイナライズ(※)された音楽用CD-RとCD-RW再生に対応しています。  
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。  
(※音楽用CD-R/CD-RWの再生対応機器で再生できるように処理する事。)
- CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWに記録されたJPEGファイルは記録状態により再生できない場合があります。
- リージョンコード「A」(BD)「2」(DVD)または「ALL」(DVD)以外のDVDディスクは再生できません。
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(SECAM/PAL)表示のディスクには使用できません。

### ■リージョン

BD/DVDでは、国ごとに割り当てられた地域番号(リージョンコード)が定められており、BD/DVDソフトに表示されている地域番号(リージョンコード)と一致しないと再生できません。  
本機(日本)のリージョンコードは「A」(BD)、「2」(DVD)です。  
「A」、「ALL」または「2」が表示されているディスクに限り、再生することができます。



### ★お願い★

#### ディスク内のデータの破損について

お客様の取扱いにより、あるいは、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスク内のデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# ご使用の前に

## ディスクについて

### ■ ディスクの構成について

#### \* BD/DVDディスクの場合

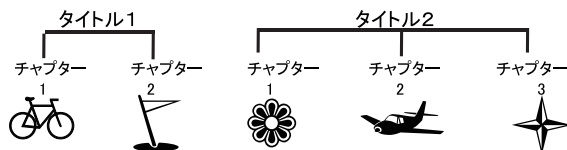
BD/DVDビデオの内容は「タイトル」と「チャプター」という単位に分けられて構成されています。

#### ● タイトルとは・・・

一般的にはBD/DVDビデオの中に複数の映画が収録されている場合、各映画ごとが1タイトルとなります。

#### ● チャプターとは・・・

タイトルの中を場面ごとに区切ったものがチャプターとなります。

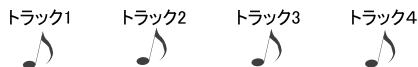


#### \* CDの場合

CDは、「トラック」という単位に分けられて構成されています。

#### ● トラックとは・・・

一般的にはCDの中に複数の音楽が収録されている場合、各曲ごとが1トラックとなります。

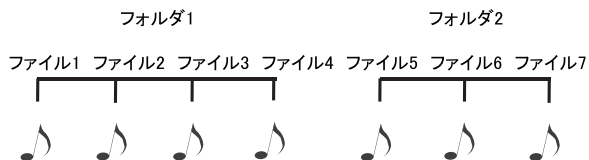


#### \* MP3/JPEG (CD-R/CD-RW) の場合

MP3ファイル形式(\*.mp3)/JPEGのデータ内容は、「フォルダ」と「ファイル」という単位に分けられて構成されています。

#### ● フォルダとは・・・

複数のトラックをまとめたものが1フォルダとなります。



### ※ご注意

一部のBD/DVDやCDにはタイトル・チャプター・トラック構造を持っていないものもあります。その場合はスキップなどの機能はご使用になれません。

※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。

その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。



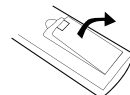
# ご使用の前に

## リモコンについて

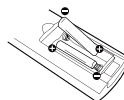
### ◆リモコンの電池を入れる

(付属の乾電池は動作確認用です。1年間の保証対象外となります。)

①リモコン背面のふたのツメを引き上げながら、ふたを開けます。



②電池の+/−の向きに注意して、単4乾電池を2本入れます。



③ふたを閉じます。

### リモコンの操作について

- リモコン発光部を本体に向けて操作して下さい。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないで下さい。
- 本機をラックなどに入れて使用する場合、ガラスドアの厚さや色などで操作可能な範囲が狭くなったり、動作が鈍くなる場合がありますので注意して下さい。
- リモコンの操作可能範囲は、距離は5m以内で上下左右の操作角度は30度以内です。

### ※ご注意

- ・リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないで下さい。
- ・リモコンに水をかけたり、濡れた物の上に置かないで下さい。故障の原因となります。
- ・長時間使用しないときは、電池の液漏れ防止のため、電池を取り出して置いて下さい。万が一液漏れをしてしまったときは、リモコンに付いた液をよく拭き取り、新しい電池と交換して下さい。
- ・付属の電池は初期動作確認用のため、新品の電池より寿命が短い場合があります。リモコンで操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。新しい電池と交換して下さい。(リモコン操作範囲は約5m・60°以内となります。)
- ・リモコンセンサーに直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなることがあります。光が直接当たらないようにして下さい。
- ・本機で指定されていない電池は使用しないで下さい。
- ・電池を挿入する場合は、向きに注意し、表示通り正しく入れて下さい。間違えますと、電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

### リモコン用乾電池について

- ⊕と⊖を逆に入れてしないで下さい。
- 乳幼児の手の届くところに置かないで下さい。
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わないで下さい。
- ⊕と⊖を針金などで接続しないで下さい。
- 乾電池は充電しないで下さい。
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中に入れてしないで下さい。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わないで下さい。
- 被覆のはがれた電池を使わないで下さい。



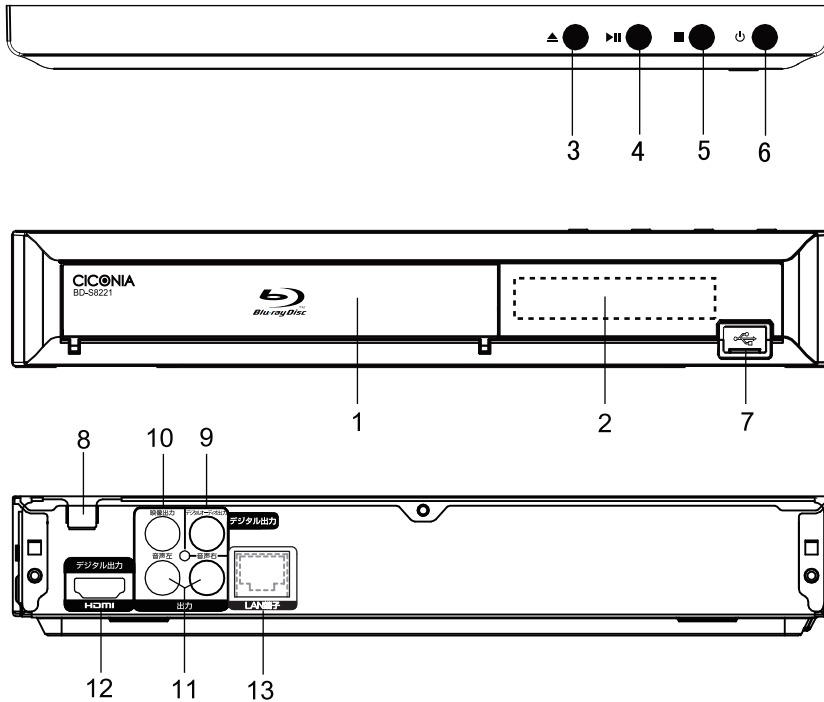
- 電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、紙や布でふき取って下さい。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談下さい。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師に相談下さい。
- 使い切った電池はすぐに本体から取り出して下さい。そのまま機器の中に放置すると電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。





# 各部名称

## 本体

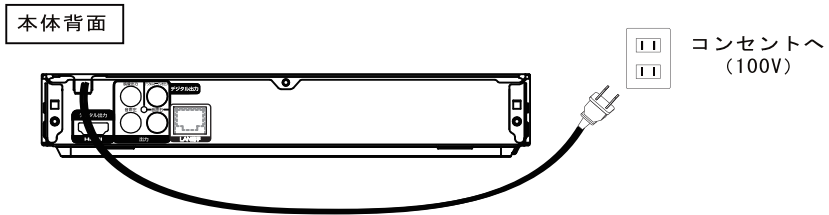


- 1) ディスクトレイ
- 2) 液晶ディスプレイ
- 3) 開閉ボタン  
ディスクトレイの開閉を行います。
- 4) 再生/一時停止ボタン  
ディスクを再生します。  
もう一度押すと一時停止します。
- 5) 停止ボタン  
再生を停止します。
- 6) スタンバイボタン  
電源を入れたり、スタンバイモードにする  
ときに使用します。赤のランプの点灯して  
いる時がスタンバイ状態です。
- 7) USB端子
- 8) 電源コード
- 9) デジタルオーディオ出力端子  
AVアンプまたはデジタル音声デコーダー付の機器  
に接続し、映画館のような音声が楽しめます。
- 10) 映像出力端子  
TVやモニターのAVまたはPHONO端子に接続し、  
色を忠実に再現します。
- 11) 音声出力(左/右)
- 12) HDMI出力  
HDMI端子付のTVやモニターに接続し、高音質・  
高画質が楽しめます。
- 13) LAN端子

# 電源について

## 電源

- ① 電源をオフして下さい。
- ② 電源プラグをコンセントへ差し込みます。



### ※ご注意

- ・感電をさけるため、電源プラグはしっかり差し込んで下さい。濡れた手で触らないで下さい。
- ・長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いて下さい。

# 操作前の機能設定

★重要★ これらの機能設定は必ずディスクをいれない状態で設定変更して下さい。

## 全般設定

### ★セキュリティー★

項目	詳細
パスワードの変更 視聴制限	視聴制限レベルを変更するにはパスワードが必要です。 初期パスワードは0000です。 視聴制限の機能でお子様には見せたくない暴カシーンや成人向けBD/DVDソフトの再生を制限できます。 (ディスクによっては視聴制限のできないものもあります。) 視聴制限レベルは下記のように分かれています。 カーソルで選択して、決定を押します。 ・Off ・子供向け ・G ・PG ・PG-13 ・PGR ・R ・NC-17 ・成人

### ★ネットワーク★

項目	詳細
インターネット接続	インターネット接続の状況を表示します。 ●可能 ●無効
インフォメーション	ネットワークの情報を表示します。 ●インターフェイス ●アドレス入力 ●IPアドレス ●サブネットマスク ●初期ゲートウェイ ●DNS
接続テスト	インターネット接続の状況をテストします。
IP設定	その製品のIP設定をします。 ●オート(自動) ●マニュアル
BD-Live接続	許可・一部許可・禁止の中から選択します。 ●許可 ●一部許可 ●禁止
プロキシ設定	無効・可能・プロキシ ホスト・プロキシ ポートの中から選択します。 ●無効 ●可能 -プロキシホストの設定 -プロキシポートの設定

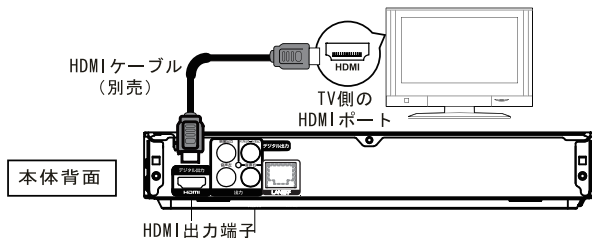
# テレビ/外部機器との接続

## HDMI出力

\* HDMIはHDMI Licensing, LLCの米国およびまたはその他の国における商標または登録商標です。

HDMI対応テレビなどと本製品をHDMIケーブル(別売)で接続することによって、高画質の映像と音声をお楽しみいただけます。

- ① 本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。
- ② HDMIケーブル(別売)を本体背面のHDMI出力端子に差し込み、反対側をTVのHDMI端子に接続して下さい。



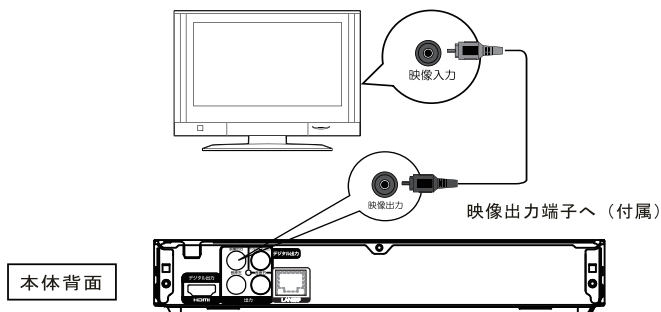
\* 映像を最も効果的にするには、HDMIボタンを押して、TVが対応している最も良い解像度を選択して下さい。

### ※ご注意

- 接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
- テレビ側の入力をHDMIに選択して下さい。お使いのテレビの取扱説明書も同様に参照して下さい。

## 映像出力端子

- ① 本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。
- ② 付属のRCA映像ケーブルを本体背面の映像出力端子に差し込み、反対側をTVの映像入力端子に接続します。



※端子にケーブルをしっかり差し込んでください。  
緩く接続されていると、映像が出ない場合があります。

\* TV側の映像入力端子は、A/V入力、映像入力、コンポジットまたはBASEBANDと表記されていることがあります。

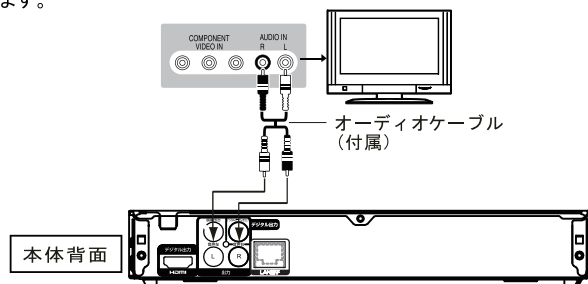
### ※ご注意

- 接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
- 本製品と外部機器は直接接続して下さい。例えば、本製品の出力をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止機能が働き、正常な画像で出力できないことがあります。

# テレビ/外部機器との接続

## オーディオ出力端子

- ①本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。
- ②RCAケーブル(付属)を本体背面のステレオ音声左/右出力端子に差し込み、反対側をTVの音声入力端子に接続します。



※端子にケーブルをしっかり差し込んでください。  
緩く接続されていると、音声が出ない場合があります。

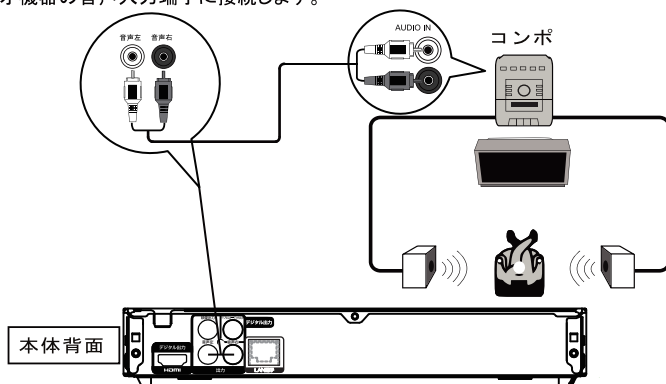
### ※ご注意

- ・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
- ・本製品と外部機器は直接接続して下さい。例えば、本製品の出力をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクトターなどを通してご覧になると、コピー防止機能が働き、正常な画像で出力できないことがあります。

## オーディオ出力端子と音響機器

本製品をオーディオ機器(別売)などに接続して、高音質の音声をお楽しみいただけます。

- ①本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。
- ②付属のRCAケーブルを本体背面のステレオ音声左/右出力端子に差し込み、反対側をテレビまたはオーディオ機器の音声入力端子に接続します。



### ※ご注意

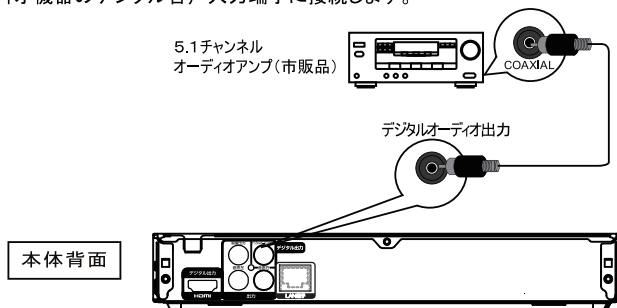
- ・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい

## テレビ/外部機器との接続

### 同軸デジタルオーディオ出力

お使いのAVアンプにドルビーデジタルデコーダが内蔵されており、デジタル音声入力端子がある場合には、下記の接続を行ってください。より臨場感のあるサウンドが楽しめます。

- ①本製品および接続する機器の電源をオフにしてください。
- ②同軸デジタルケーブル(別売)を本体背面の同軸音声出力端子に差し込み、反対側をテレビまたはオーディオ機器のデジタル音声入力端子に接続します。



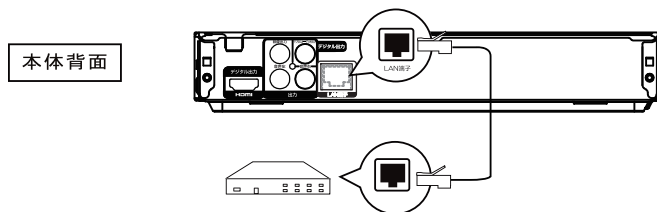
#### ※ご注意

・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

### LANとの接続

本製品をネットワーク接続することで、ソフトウェアなどを楽しむことができます。

- ①LAN(別売)を本体背面のLAN端子に差し込み、反対側をモデムまたはルーターやハブに接続します。



#### ※ご注意

・接続するときは、必ず本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。  
・インターネットに接続する前に、本製品を初期設定にしてください。



# 操作前の機能設定

★重要★ これらの機能設定は必ずディスクをいれない状態で設定変更して下さい。

機能設定の操作は、リモコンで操作し、操作方法と機能選択は各機能とも、以下と同じ方法で操作をします。

- ① 停止状態で、「システム設定」ボタンを押してください。
- ② カーソル(移動キー)の◀▶ボタンで一般設定の項目を選択します。
- ③ カーソルの▼▲ボタンで移動し、機能設定の項目をハイライトします。
- ④ カーソルの▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
- ⑤ 「決定」ボタンを押して決定します。
- ⑥ メイン設定画面に戻るには「戻る」ボタンを押します。
- ⑦ 設定画面を閉じるには「システム設定」ボタンを押します。

## 全般設定

★システム★	
項目	詳細
スクリーンセーバー	再生画面の一時停止状態が続くと液晶画面の焼き付きが起る原因となります。本機能はこの現象を防止することができます。 ●オン ●オフ
ディスク自動再生	自動再生機能が働きます。 ●オン ●オフ
初期設定の読込	設定を工場出荷時の初期設定に戻します。 デフォルトの設定を読み込むにはOKを選択します。
アップグレード	アップグレードファイルが記録されているメディアを選択します。
簡単設定	簡単設定モードを選択します。 画面に従って決定ボタンを押します。設定変更する項目を▲▼ボタンで選択して決定ボタンを押します。
BUDA	外付けを選択して下さい。

\* BUDAとは、ディスクのリージョンを確認する処理手順のことです。  
本機の電源をオンにした時、ソフトウェアはディスクのリージョンを自動的に確認します。もしディスクがない場合は、スクリーンにBUDAと表示されます。

# 操作前の機能設定

★重要★ これらの機能設定は必ずディスクをいれない状態で設定変更して下さい。

## 全般設定

### ★言語設定★

項目	詳細
OSD(表示言語)	操作時の表示の言語を選択します。
メニュー	メニューの言語を選択します。
オーディオファイル	音声の言語を選択します。
字幕	字幕の言語を選択します。 オフを選択すると字幕言語は画面に表示されません。

### ※ご注意

ディスクに収録されていない言語は設定できません。

### ★再生★

項目	詳細
クローズドキャプション	クローズドキャプションのオン・オフを選択します。 ●On ●Off
アングルマーク	アングルマークのオン・オフを選択します。 ●On ●Off
PiPマーク	PiPマークのオン・オフを選択します。 ●On ●Off
セカンダリーオーディオ (副音声マーク)	副音声機能のオン・オフを選択します。 ●On ●Off

# 操作前の機能設定

★重要★ これらの機能設定は必ずディスクをいれない状態で設定変更して下さい。

## ディスプレイ設定

★TV設定★	
項目	詳細
TVスクリーン	接続するテレビの形状に合わせて画面のサイズ:比率を選択します。 ●16:9フル ●16:9ノーマル ●4:3パンスカン ●4:3レターボックス
解像度	お使いのテレビに合わせて解像度を選択します。 ※解像度はHDMIケーブルがテレビに接続された場合のみ選択できます。
TVシステム	お使いのテレビに合わせて選択します。 ●NTSC NTSC方式で録画されたディスクを再生します。 ●PAL PAL方式で録画されたディスクを再生します。 ●マルチ 録画方式を自動的に選択して再生します。 (日本のテレビ方式はNTSCです)
カラースペース	映像信号出力方式を選択します。 ●YCbCr ●YcbCr422
HDMIディープカラー	HDMIのディープカラーを選択します。 ●30ビット ●36ビット ●48ビット ●Off
HDMI1080P24Hz	HDMI 1080P 24Hzのオン・オフを選択します。 ●On ●Off
★画質設定★	
項目	詳細
映像プロセス シャープネス	画像のシャープネスモードを選択します。 ●高 ●中 ●低
★動画処理★	
項目	詳細
モーションビデオ プロセス	ビデオモードを選択します。 ●標準 ●鮮やかさ ●smooth
	カラー調整 画面の基本色調を選択します。
	ノイズ低減 効果レベルを選択します。

# 操作前の機能設定

★重要★ これらの機能設定は必ずディスクをいれない状態で設定変更して下さい。

## オーディオ設定

### ★オーディオ設定★

項目	詳細
SPDIF	SPDIFモードを選択して下さい。 ●ビットストリーム ●PCM ●再エンコード ●OFF
HDMI	HDMIモードを選択して下さい。 ●ビットストリーム ●PCM ●再エンコード ●OFF
Down samp (サンプリング周波数)	サンプリング周波数選択します。 ●48k ●96k ●192k
Dolby DRC	ダイナミックレンジの動作を設定します。 ●Off ●On ●オート
DRC	ダイナミックレンジのプリセットモードを選択します。 ●Off ●Mode-1 ●Mode-2

# 操作前の機能設定

★重要★ これらの機能設定は必ずディスクをいれない状態で設定変更して下さい。

## アップグレード

### ■現状のソフトウェアの確認

- ① 設定ボタンを押して下さい。
- ② 一般設定を選択して、カーソルの **▶ボタン** と **▲▼ボタン** でさらなる詳細を選択します。
- ③ 表示されているソフトウェアを確認して下さい。  
(前のメニュー項目に戻るにはカーソルの **◀ボタン** を押して下さい。)

### ■アップグレードの方法を選択

現状のソフトウェアの確認後、アップグレード必要な場合は、上記の操作の後、アップグレード方法をせんとくして、**決定ボタン**を押します。

### ■USBを通してアップグレードするには

- ① USBフラッシュドライブにソフトウェアをダウンロードします。
- ② USB端子にUSBフラッシュドライブを挿入します。
- ③ 設定メニューで 一般設定 > システム設定 > アップグレード > USB の順番で選択します。
- ④ TV画面(モニター画面)に表示されるとおりにアップグレードを行って下さい。
- ⑤ アップグレードが完了すると、本製品は自動的にスタンバイ状態になります。
- ⑥ 数秒間電源コードを外し、再度接続して下さい。

### 重要 ★ご注意下さい★

- ※ アップグレード中は、絶対に電源をオフにしたり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないで下さい。もし、途中でこれらが起こりますと、製品は、二度と動作しなくなります。
- ※ アップグレード中の操作間違いによる故障は、当社では請け負いかねますのであらかじめご承知おき下さい。

## ディスクの再生＜基本操作＞

### ★再生を開始する前に再確認★

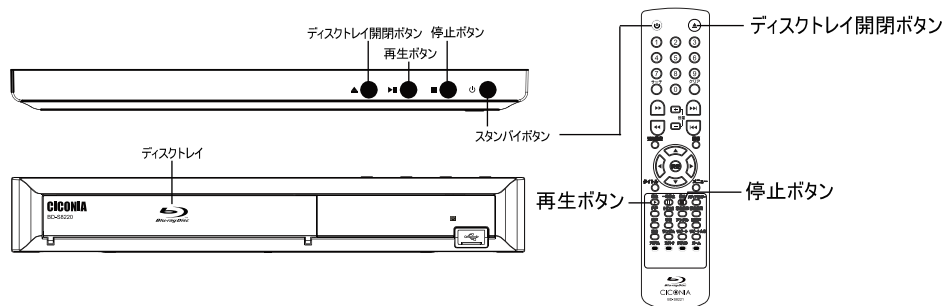
1. 確実にテレビと接続されている事を確認して下さい。
2. 接続したテレビの入力モードを、外部入力 あるいは DVDに切り替えている事を確認して下さい。

### ★重要★ ディスク再生について

- ※ DVD/CDを本体に装着後、記録された情報量により、読み取りに時間がかかる場合があります。その時は、接続されたテレビ画面に、記録内容が表示されるまで、お待ちください。
- ※ DVDのディスクの中には、再生時に特別なプログラムや一部制限/削除されたソフトがあり、本機の全ての機能を使えないものもあります。
- ※ この取扱説明書に記載の機能が全て使用できない場合も故障ではありません。
- ※ BD-R/BD-RE及びDVD-R/DVD-RW等に記録された内容も再生可能ですが、記録状態によっては、再生出来ない場合もあります。
- ※ ディスクを一時停止、または停止してから、5分以内にいずれかのボタンを押さない場合、自動的にDVDロゴが不規則に移動するスクリーンセーバーになります。 どれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。

※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

### 再生



- ① **スタンバイボタン**を押します。
- ② **開閉ボタン**を押して、ディスクトレイを開きます。
- ③ ディスクを入れて下さい。
  - ※ ディスクに指紋や汚れがつくと読み取りできないことがあります。
  - ご注意 ※ ディスクの外周を持って注意して装着して下さい。
  - ※ ディスクが裏表逆などになっていると「ディスク無し(no disc)」や「不良ディスク(Bad disc)」と表示されます。
- ④ **開閉ボタン**を押して、ディスクトレイを閉じます。
- ⑤ ディスクの読み取りが始まり、自動的にディスクの再生が始まります。
  - ※ ディスクが自動的に再生されない場合は、本体またはリモコンの再生ボタンあるいはリモコンの「決定」ボタンを押してディスクを再生して下さい。

# ディスクの再生＜基本操作＞

## 一時停止

再生を一時停止するには再生中に本体の **▶||再生/一時停止ボタン** または **リモコンの||一時停止ボタン** を押して下さい。  
再び再生するには、**▶再生ボタン** を押して下さい。

## 停止

再生を停止するには **■停止ボタン** を押して下さい。  
\* Java機能のついたBDIは、レジューム機能に対応していません。

## 早送りと早戻し

ディスクの再生中に **▶▶早送り** または **◀◀早戻しボタン** を押して下さい。  
早送り・早戻しのスピードは



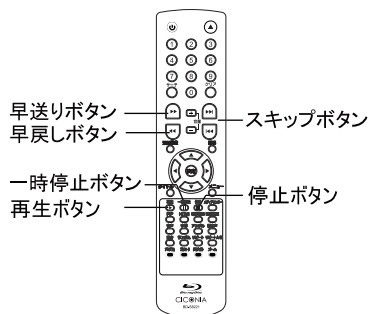
となります。早送り・早戻しを終了するには **▶再生ボタン** を押します。  
※ディスクのWARNING部分は早送り・早戻しはできません。早送り・早戻し中は音声出力されません。

## スキップ機能（別のトラックにすばやく移動）

BD/DVD/音楽CDディスク再生時に前のチャプター/トラックに移動したいときは、**◀◀スキップボタン** を順次押すと前のチャプター/トラックへ移動できます。

また次のチャプター/トラックに移動する時は **▶▶スキップボタン** で同様な操作をして下さい。

音楽CDはリモコンの **数字キー** で直接トラック番号を入れることでそのトラックに移動し再生することができます。



### ※ご注意

一部のDVDディスクではチャプターが一つかない場合、スキップボタン(**◀◀/▶▶**)が説明書通り動きません。ディスクがその機能に対応していない場合や本機がディスクの内容に対応していないときは、**⊙** と表示されます。この表示がでたときは、その機能が再生中のディスクに含まれていない可能性があります。

# 各種機能

## リピート機能

### ★リピート再生★

リモコンの **リピートボタン** でチャプター、タイトル、またはトラックを繰り返し再生することができます。リピートボタンを押すごとに下記の通り切り替わります。

- \* BDの場合  
チャプターを繰り返す → タイトルを繰り返す → リピートオフ
- \* DVDの場合  
チャプターを繰り返す → タイトルを繰り返す → 全てを繰り返す → リピートオフ
- \* CDの場合  
トラックを繰り返す → 全てを繰り返す → リピートオフ



### ★A-Bリピート再生★

特定の区間を繰り返し再生します。

- ① 再生中にリピート再生を開始したいところでリモコンの **リピートA-Bボタン** を押します。  
画面上に“リピートA”と表示されます
- ② リピート再生を終了したいところで再度 **リピートA-Bボタン** を押します。  
画面上に“リピートA-B”と表示されます。
- ③ 指定した区間の再生を開始します。
- ④ リピートを解除するには、再度 **リピートA-Bボタン** を押します。  
画面上に“リピート オフ”と表示されます。

### ※ご注意

- ・特定区間のリピートが機能しないディスクもあります。MP3ディスクでは機能しません。
- ・A-Bリピート再生は、同じタイトル内でのみ動作します。始点と終点を異なるタイトル内で設定すると、A-Bリピート再生はキャンセルされます。
- ・A-Bリピート再生は、異なるカメラアングルが収録されている場合には、動作しません。

## プログラム機能

プログラム再生機能で、タイトルやチャプター、トラックをお好みの順番に再生することができます。最大15メモリーまでプログラム可能です。

- ① ディスクが挿入されている状態で **プログラムボタン** を押します。
- ② **決定ボタン** を押します。
- ③ カーソルボタンまたは数字ボタンで希望する順番に **Tt列にタイトル番号** を、**ch列にチャプター番号** を、CDの場合はトラック番号を2桁で入力します。
- ④ **決定ボタン** を押し、次のプログラムをプログラムします。
- ⑤ プログラムが完了したら、再生ボタンを押します。
- ⑥ プログラム再生を解除するには再生中に **プログラムボタン** を押し、戻るボタンを押します。

### ※ご注意

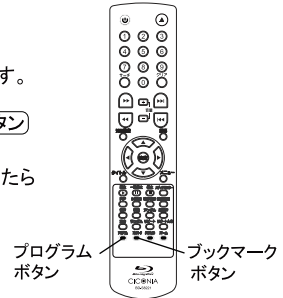
- ・ディスクによってはプログラム再生できないものもあります。



# 各種機能

## ブックマーク機能

- ① ブックマークは12ヶ所につけられます。
- ② 12ヶ所にブックマークをつけておくと好きなタイトルに簡単に飛ぶことができます。
- ③ **ブックマークボタン** を約5秒間押しすとブックマークした箇所が表示されます。
- ④ **◀▶ボタン** でブックマークしたタイトルを選択し、**▶再生ボタン** か **決定ボタン** を押します。
- ⑤ ブックマークを解除するには **ブックマークボタン** を約5秒間押し、表示が出たら **クリアボタン** を押しすとタイトルずつ解除できます。




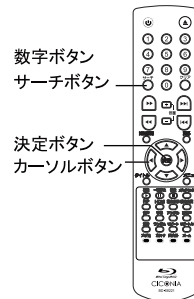
## サーチ機能

**サーチボタン** を押しして10秒以上操作しない場合、もしくは項目を選択し、**決定ボタン** を押しすと選択できなくなります。もう一度選択する場合は、**サーチボタン** を押ししてサーチ表示を消してから **サーチボタン** をもう一度押しして下さい。  
BDやDVDディスクに「タイトル」「チャプター」「時間」の情報が入っていない場合は、選択できません。

## ★タイトルを指定する★


希望のタイトルを指定して再生することができます。

- ① リモコンの **サーチボタン** を押しします。
- ② カーソルの **◀▶ボタン** を押しして、 を選択します。
- ③ **決定ボタン** を押しします。
- ④ リモコンの **▲▼ボタン** または **数字ボタン** で設定します。
- ⑤ **決定ボタン** を押しします。
- ⑥ 入力したタイトルから再生がスタートします。




## ★チャプターを指定する★

希望のチャプターを指定して再生することができます。

- ① リモコンの **サーチボタン** を押しします。
- ② カーソルの **◀▶ボタン** を押しして、 を選択します。
- ③ **決定ボタン** を押しします。
- ④ リモコンの **▲▼ボタン** または **数字ボタン** で設定します。
- ⑤ **決定ボタン** を押しします。
- ⑥ 入力したチャプターから再生がスタートします。

## ★時間を指定する★

希望の時間を指定して再生することができます。

- ① リモコンの **サーチボタン** を押しします。
- ② カーソルの **◀▶ボタン** を押しして、時間を設定する項目  を選択します。
- ③ カーソルの **▲▼ボタン** でチャプタータイムかトータルタイムを選択します。
- ④ **決定ボタン** を押しします。
- ⑤ カーソルの **◀▶ボタン** で「時」「分」「秒」を設定します。
- ⑥ カーソルの **▲▼ボタン** または **数字ボタン** で設定します。
- ⑦ **決定ボタン** を押しします。
- ⑧ 入力した時間から再生がスタートします。

### ※ご注意

- ディスクによっては操作に反応しないものもあります。
- シーンによっては、設定した通りに正確にジャンプしないものもあります。
- 目的のシーンにジャンプする方法は、同じタイトル内でのみ有効です。

# 各種機能

## 音声言語の切換

BD/DVDディスクの中には複数の音声出力や言語が収録されているものがあります。

- ① 再生中にリモコンの**音声ボタン**を押すと収録されている音声方式/言語の総数と現在選択されている番号が画面に表示されます。
- ② **音声ボタン**を繰り返し押していくと、聴きたい音声方式/言語に設定ができます。  
※収録されている音声出力/言語が一つの場合、**音声ボタン**を押しても番号はわかりません。

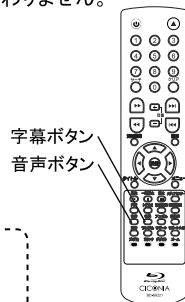
## 字幕言語の切換

BD/DVDディスクの中には複数の字幕言語が収録されているものがあります。

- ① 再生中にリモコンの**字幕ボタン**を押すと収録されている字幕言語の総数と現在選択されている番号が画面に表示されます。
- ② **字幕ボタン**を繰り返し押していくと、字幕言語を変更できます。

### ※ご注意

- ディスクによっては、字幕設定が自動的にされているものもあります。その時は、字幕設定をオフにしても字幕を非表示にすることができません。
- 収録されている字幕言語が一つの場合、字幕ボタンを押しても言語はわかりません。
- 収録されている字幕言語数はディスクによって異なります。
- 字幕ボタンを数秒間押されない場合は、現在の字幕言語のまま再生されます。
- 字幕言語はディスクのメニュー画面から設定するものもあります。  
**メニューボタン**を押してメニュー画面で設定して下さい。




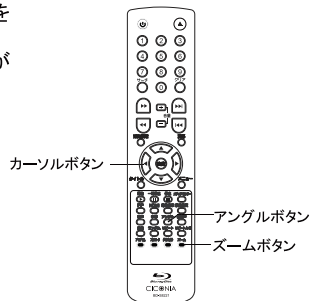
## アングル切換

ディスクによってはいくつかの異なるカメラアングル(角度)で撮影された映像を収録しているものがあります。それらのディスクではマルチアングル機能を使い、異なる角度からの映像を選んでお楽しみいただけます。


- ① アングル機能に対応したディスクの再生中にリモコンの**アングルボタン**を押すと、現在再生中のアングル番号が表示されます。
- ② 順次**アングルボタン**を押していくと、ディスクのアングルの異なる映像が次々と再生されます。  
\* 約2秒後に選択したアングルで再生します。  
\* 10秒以内に何も押さなければ、現在の画面から変更せず再生します。

### ※ご注意

アングル機能は複数のアングルを持つディスクのみが再生できるもので、1つのアングルしか無い場合は画面上に  と表示され、アングルは変化しません。



## ズーム切換

- ① ディスクの再生中にリモコンの**ズームボタン**を押します。
- ② ズーム中に**カーソルボタン**()を使用して見たい部分に移動することができます。
- ③ **ズームボタン**を押すごとに拡大率が下記の通りに変わります。

2倍→3倍→4倍→1/2ズーム→1/3ズーム→1/4ズーム→標準

※画像の端まで移動すると、それ以上は移動できません。

# 各種機能

## PiP再生(BDディスクのみ)

Blu-rayディスクの中には、PiP (Picture-in-Picture) モードに対応しているものもあります。PiPモードを使うと、メイン画面がフルスクリーンで表示され、サブ画面が隅に表示されます。

- ① リモコンの  **PiPボタン**  を押して、PiPモードのオン・オフを切り替えます。
- ② リモコンの  **副音声ボタン**  を押して、PiPウィンドウ内とメイン画面の音声変更をします。
- ③  **カーソルボタン**  を押して  **決定ボタン**  を押し、目的の設定に変更します。



### ※ご注意

- 音声で選択できるオプションは、ディスクによって異なります。
- PiP機能はPicture-in-Picture機能に対応しているBDのみ再生できます。

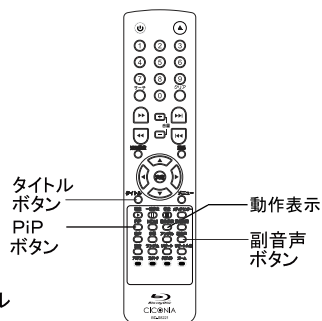
## ディスクポップアップメニュー

- ① BD/DVDの再生中にリモコンの  **タイトルボタン**  を押すと、BDのポップアップメニューやDVDのタイトルメニューが表示されます。
- ②  **カーソルボタン**  を押して項目を選び、 **決定ボタン**  を押します。

## ディスク情報の表示

リモコンの  **動作表示ボタン**  を押すと、ディスクのタイプ、現在のタイトルの経過時間などのディスクについての情報が表示されます。

※BD以外では、表示されるディスク情報は異なります。

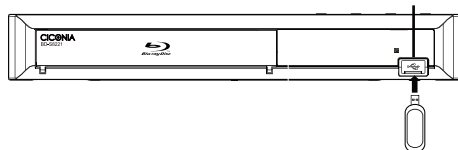


# 各種機能

## BD-LIVEを楽しむ

BD-LIVEのボーナス特典があるBDは、本機のローカル保存場所またはUSBを接続することによって、USBにダウンロードすることが出来ます。  
BD-LIVE対応のディスクを再生するとき、本機またはディスクのIDをインターネットを通じて送ることが出来ます。サービスや機能はディスクによって変わります。

- ① USBにダウンロードする場合は、USBを本体前面にある **USB端子** に接続します。



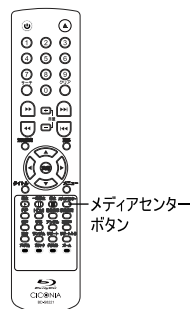
### ※ご注意

- USBにダウンロードする場合は、2GB CIASS 6 以上の容量があるUSBをお使い下さい。

## メディアセンターボタンの操作と機能

- ① USBを本体前面にある **USB端子** に接続します。  
② リモコンの **メディアセンターボタン** を押し、以下のメニューが表示されますので、リモコン上の **カーソル/移動キー** と **決定キー** で希望のメニューを選択します。

USB1 …… USB内のファイル再生を行います。(下の欄に操作を説明します。)  
Dlnaサーチ …… DNLN機能が内蔵された外部機器を検索します。  
再生リスト …… 再生するリストを作成します。



### ■ USB内メモリー操作

- ① USBメニューを選択すると以下のファイルメニューが表示されますので、**カーソル/移動キー** と **決定キー** で希望のファイルを選択します。  
② 選択後、リモコンの **決定キー** あるいは **再生キー** を押し再生を開始します。

### ※ご注意

ファイルはその作成された種類・形式によっては再生出来ない場合もありますので、予めご了承ください。

# 音楽再生

## 基本再生

- ① **スタンバイボタン** を押します。
- ② **開閉ボタン** を押して、ディスクトレイを開きます。
- ③ ディスクを入れて下さい。  
ディスクに指紋や汚れがつくと読み取りできないことがあります。  
ディスクの外周を持って注意して装着して下さい。  
ディスクが裏表逆などになっていると‘ディスクなし’や‘不良ディスク’と表示されます。
- ④ **開閉ボタン** を押して、ディスクトレイを閉じます。
- ⑤ ディスクの読み取りが始まり、自動的にディスクの再生が始まります。  
※ディスクが自動的に再生されない場合は、**▶再生ボタン** を押してディスクを再生して下さい。

その他の基本動作

	再生を一時停止します。
■	再生を停止します。
<<>>	前または次のトラックへスキップします。
<<>>>>	早戻しまたは早送りします。 押すたびにスピードが変わります。

## MP3-CD音楽再生

- ① MP3ディスクをディスクトレイに入れます。
- ② 音楽フォルダを選択し、**決定ボタン** を押します。
- ③ 再生するファイルを選択し、**決定ボタン** を押します。

### ★お願い★

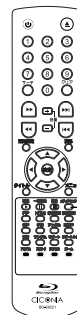
- 記録時の状態によりMP3-CD再生中に動作がフリーズ状態になる場合があります。  
そのときは、電源コードを電源ソケットより抜き取り、30秒ほど待って再度、接続し、電源スタンバイスイッチをオンして再生を開始してください。
- 半角英数字しか対応していませんので、歌手名や曲名が日本語の場合、文字化けし、正しく表示されません。日本語歌手名や曲名は、できる限りローマ字で記録する様をお願いします。

## USBメモリー内のMP3音楽再生

- ① USBを本体前面にある**USB端子** に接続します。
- ② リモコンの**メディアセンターボタン** を押します。
- ③ 再生するファイルを選択し、**決定ボタン** を押します。

### ※ご注意

- CD-R/CD-RWなどに記録された音楽も再生可能ですが、ディスクの記録状態により再生できない場合があります。
- MP3PROには対応していません。



メディアセンターボタン

# 各種ファイルの再生

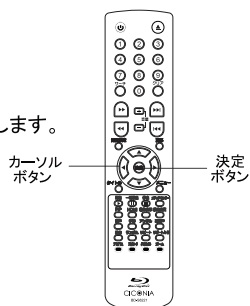
## 静止画(写真等)再生

### ★基本操作

- ① ディスクまたはUSBを挿入します。
- ② フォルダを選択し、**(決定ボタン)**を押します。
- ③ **(カーソルボタン)**を押して、再生したいファイルを選択します。
- ④ 画像を拡大またはスライドショーを始めたい場合は**(決定ボタン)**を押します。

基本動作

◀▶	反時計回り/時計回りに回転します。
▲▼	平行/垂直に反転します。
■	再生を停止します。



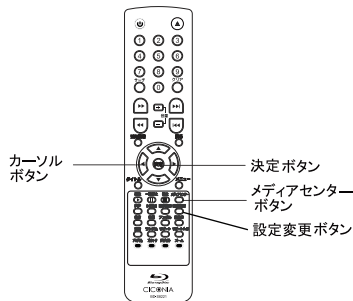
### ★スライドショー再生

- ① 再生中に**(設定変更ボタン)**を押します。  
再生オプションメニューが表示されます。
- ② メニューの中のオプションを選択し、**(決定ボタン)**を押します。
- ③ カーソルボタンを押して、オプションを選択します。
- ④ **(決定ボタン)**を押します。

### ★ミュージカルスライドショー再生

MP3音楽ファイルとJPEGファイルを同時に再生するミュージカルスライドショーを作ることができます。ただし、MP3音楽ファイルとJPEGファイルが同じディスクに保存されている必要があります。

- ① MP3を再生します。
- ② **(メディアセンターボタン)**を押して、メインメニューに戻ります。
- ③ カーソルボタンでフォトフォルダに入り、**(決定ボタン)**を押してスライドショーをスタートさせます。
- ④ フォトフォルダの最後までスライドショーが続きます。  
音楽はディスクの最後の曲まで再生されます。
- ⑤ スライドショーを停止するには、**(■停止ボタン)**を押します。  
音楽を停止するには、もう一度**(■停止ボタン)**を押します。



### ※ご注意

- 本機のJPEGファイル再生は、以下の内容のファイル形式以外は再生しませんので、あらかじめご了解下さい。
  1. ファイルシステム ISO9660に準拠
  2. 拡張子 JPG
  3. 特殊文字のないファイル名
  4. ファイルサイズ 10MB以下
  5. フォーマット BASELINE/プログレッシブ方式
  6. カラーモード RGBのみ
- 表示されないファイルは本機では再生できません。また、表示されているファイルでも再生できない場合があります。
- ファイル名に表示できないコードがあるときは、文字化けを起こす場合があります。
- 膨大な数量の写真がある場合は、ディスク内容を表示するのに時間がかかる場合があります。
- 本製品ではMotion JPEG・JPEG以外のフォーマット形式の画像・サウンドクリップは再生できません。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に以下の項目をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

症状	原因
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていない。</li><li>・電源がOFFになっている。</li></ul>
リモコンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・リモコンと本体との間に障害物がある。</li><li>・リモコンと本体との距離が遠い。</li><li>・リモコンが本体センサーの方向に向っていない。</li><li>・リモコンの電池が正しく挿入されていないか、電池が消耗している。</li></ul>
音が出ない、小さい。	<ul style="list-style-type: none"><li>・一時停止またはスロー・早送り・早戻し再生モードでの再生中。 (再生ボタンを押して通常再生に戻して下さい。)</li><li>・映像/音声出力が正しく接続されていない。</li><li>・音声ケーブルがしっかりさしこまれていない。</li><li>・音声が0になっている。</li></ul>
映像がでない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・リージョンコードの異なるディスクを使用している。 (A(BD)、2またはALL(DVD)のディスクしか再生できません)</li><li>・機器が適切に接続されていることを確認して下さい。</li><li>・テレビの電源、映像モードが正しく設定されているか確認して下さい。</li><li>・映像出力を確認して下さい。</li></ul>
画像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ディスクが汚れている。</li><li>・ディスクに傷がついている。</li><li>・ビデオケーブルの接続プラグ、あるいは端子が汚れている。</li></ul>
ディスクが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ディスクが入っていない、またはディスクの裏表が逆になっている。</li><li>・気温の変化によって本体内部に結露が発生した可能性があります。 (しばらく時間をおいて結露を解消させてから再度再生させて下さい)</li><li>・リージョンコードの異なるディスクを使用している。 (A(BD)2またはALL(DVD)のディスクのみの対応です。)</li><li>・電源をOFFにし、しばらくしてから再度電源を入れてみて下さい。</li><li>・録画したDVDディスクの場合ファイナライズされたものでないと再生できません。</li><li>・一般市販ディスク以外は書き込み状態によっては再生できない場合があります。</li></ul>

# 仕様

再生可能ディスク	BD-ROM/BD-R/BD-RE※1・2 DVD-Video DVD-R/-RW, DVD+R/RW※3・4・5 DVD+R/-R DL※3・4・5 DVD-RAM CD-R/-RW※6
再生可能ファイル	MPEG2 MPEG4(H.264)AVC AVC HD WMV
音声記録再生	Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby True HD DTS / DTS-HDMA MPEG1 / MPEG2 / MP3 / WMA / AAC
静止画像再生	JPEG
映像信号	NTSC/PAL/マルチ
映像出力端子	RCA HDMI映像出力: オート、480i、576i、480/576p、720p、1080i、1080p
音声出力端子	RCA音声出力端子・同軸デジタル出力端子
その他端子	USB端子(前面)・LANポート(背面)
電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	W260 x L223 x H50 mm
重量	約1.4Kg(本体+リモコン)
消費電力	約16W

- ※1：家庭用BDレコーダー(HDD搭載タイプ含む)で作成したディスクの標準録画はDRモードです。  
ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
- ※2：家電用BDレコーダー(HDD搭載タイプ含む)はメーカー独自の録画方式がありますが、いずれの方式にも対応していません。
- ※3：16:9および4:3の映像が混在して録画されている場合はいずれか一方の表示で再生される場合があります。
- ※4：家庭用DVDレコーダーで作成したディスクは、VRモード(標準画質録画)で作成し、ファイナライズ処理されたディスクに限ります。ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
- ※5：家庭用DVDレコーダーで作成したデジタル放送(地上波・BS・CS)を録画したディスクにはCPRM信号が入っており、対応しているDVDプレーヤーで再生できます。本機はCPRM対応機のため、デジタル放送を録画したディスクの再生もできます。ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
- ※6：音楽用CD-R/-RWは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

●本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。